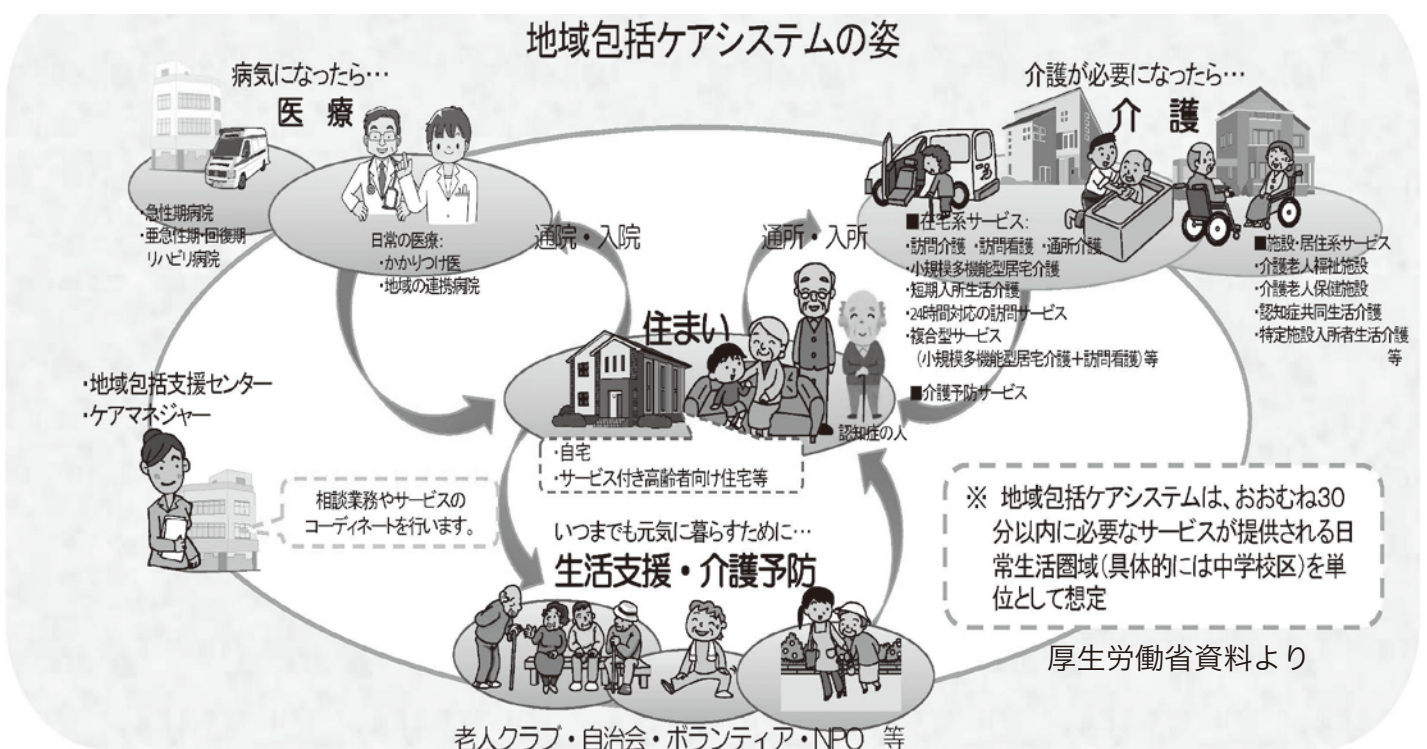


築上町が進める認知症施策

国は、65歳以上の人口が3,000万人（国民の4人に1人）を超え、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、医療や介護の需要がさらに増加すると予想しています。また認知症の方は平成24年は約462万人（約7人に1人15%）、軽度認知症障害の方は400万人（13%）との発表があり、2025年には約700万人（65歳以上の5人に1人）と推計しています。

こうした状況に対応するため、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるサービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

そのひとつに認知症施策として新オレンジプランが平成27年1月に出されました。



《新オレンジプラン》

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視

築上町では、高齢化率が33%を超える現状を踏まえ、「地域包括ケアシステム」を積極的に進め、認知症施策も新オレンジプランを柱に、みんなが元気でいきいきとした生活が送れるように関係機関と連携し、いろいろな施策を展開します。

《認知症施策》

- ★認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置しました。
最近物忘れがあり不安と思われる方などお気軽にご相談ください。
*平成27年4月1日から曾宮芳子社会福祉士が認知症地域支援推進員として活動しています。
- ★認知症を正しく理解してもらうため、「認知症介護講演会」「認知症サポーター養成講座」を開催します。
地域の公民館で数人の方が集まる機会があれば「認知症サポーター養成講座」を出前講座で行います。ご連絡ください。
- ★認知症介護相談会を毎月第3火曜日に築城支所 第一会議室で福岡県認知症医療センターの協力を得て開催しています。
- ★介護予防教室の開催：「脳若トレーニング講座」や「ふれあい健康サロン」において脳の活性化や健康づくり・介護予防を楽しみながら受講できる講座を開催します。
- ★介護者の会(仮称)の組織化を支援することで介護者の負担軽減を図ります。
- ★「認知症カフェ」を開設。認知症の方や家族はもちろん地域の人々が集え、またどなたでも気軽に相談できる場として開設します。

認知症・介護相談会

日頃、もの忘れや介護など困っていることなどお気軽にご相談ください。

日時 7月21日(火) 13:30~15:00

場所 役場築城支所1階 第一会議室

スタッフ 包括職員、福岡県認知症医療センター「行橋記念病院」の相談員

※事前に電話予約をお願いします。お急ぎの場合は、いつでもご相談ください。

いつまでも住みなれた地域でいきいきと暮らすために ~一人ひとりができること、一緒に考えてみませんか~

日時 7月30日(木) 受付9:30~、開始10:00

場所 保健センターチアフルつき 多目的ホール

講師 公益財団法人 さわやか福祉財団 さわやか九州1ブロックリーダー 阿部かおり氏

※介護予防ボランティア養成講座の拡大講座です。受講生はもちろんですが、どなたでも参加できます。

問い合わせ 築上町地域包括支援センター(福祉課地域包括支援係) 築城支所内
担当: 曾宮・吉廣・高島・松田
TEL: (52) 0001 (支所内線143・144)